

巨大作図に挑戦しよう

単 元	基本の作図	対象学年	1 年
ね ら い	既習の作図の方法のみを使って、与えられた図を完成させる。グループで協力して作図する活動を通して、作図の方法の理解を深める。		

1 準備するもの

教師 作図する図、ラインカー、メジャー（ひも）

2 学習のしかた

(1) 基本の作図を学習する。教科書P138～P142

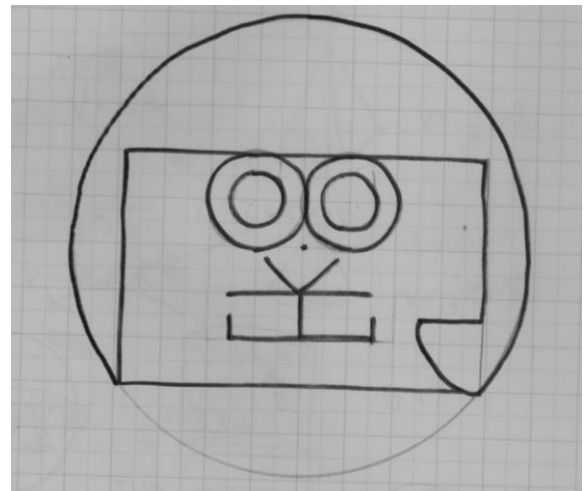
- ・線分の垂直二等分線の作図
- ・角の二等分線の作図
- ・垂線の作図

(2) 基本の作図の方法を使って運動上に作図を利用した巨大な絵を描く

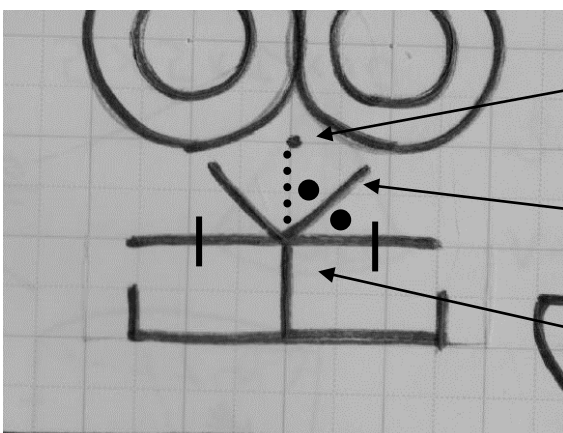
今回使用したキャラクター

「オカザえもん」

方眼紙に書いた作図用の図



- ・方眼紙で長さや位置関係が分かる簡単な絵を利用する。
- ・1マスが実際にどれだけの大きさなのかを決めて作図させる。今回は1mとした。



輪郭の中心となる点

角の二等分線の作図

垂直二等分線の作図

3 学習上の留意点

- ・ 作図の方法を考えるとときや実際に線を引く活動などに全員が参加できるようにグループを組んでグループごとに作図をする。
- ・ 生徒に渡す図には完成図のみを渡しておき、グループごとの作図のいろいろな手順を認める。
- ・ メジャーを1本だけ与えるが、長さの目盛を使う場面をできるだけ少なくするようにさせる。ひもを折り曲げることはしないなど、作図を行って絵を完成させる上での条件を確認する。メジャーを使う場合も長さの目盛りは使わないなどのルールを決めておくとうい。
- ・ ひとつひとつの角についても直角など正確に作図しようと活動するグループなど、どこまで丁寧に取り組むことができたか振り返る場面を持つとうい。

4 学習の効果

- ・ 自分たちが体を動かして作図をすること、そして作図が絵になるということで興味をもって意欲的に取り組むことができる。
- ・ 教科書の問題のように難しく考えるのではなく、線の真ん中を調べるにはどうすればよいかなど自分の疑問に直結しており、作図方法の定着につながる。

【活動の様子】



5 参考資料

- ・ 作図に利用したキャラクター 「オカザえもん」 <http://okazaemon.co/>